

Ⅷ. 国際的な取り組み

第1章

概 要

三小田 博 昭

平成26年に名古屋大学がスーパーグローバル大学 (SGU) に採択された。名古屋大学SGU構想には当然附属学校も関わっている。本校には毎年海外からたくさん的高校生や研究者が訪問する。以下の表は平成28年1月31日までに本校を訪問した海外からのゲストの数である。本校を訪問した海外からのゲストの多くは、本校が主催する名古屋大学キャンパスツアーに参加する。このキャンパスツアーでは、名古屋大学の研究施設やG30プログラムを訪問する。本校を訪問した海外の高校生の中には、母国的高校や大学を卒業後に名古屋大学で研究を行う生徒もいる。また、大学キャンパスツアーだけでなく、本校の通常授業に入り、本校の中高生と一緒に授業を受ける。本校の授業は「協同的探究学習」を行っているため、海外からの高校生が参加したとしても無理なく授業を行うことができる。授業後には、SSH「生徒研究員制度」にも参加し、実験や観察を一緒に行う。また、SSH生徒研究員制度での研究成果を本校せいとが英語で発表し、海外からの高校生とディスカッションも行う。

(平成27年度1月末までの実績)

時期	国名	外国人 生徒 (学生)数	外国人 教員数	関係機関等
4月	アメリカ	1名	2名	AFS 1年長期留学生
5月	台湾	18名	2名	愛知県観光協会
6月	モンゴル カナダ	1名	2名	新モンゴル高校 AFS 3ヶ月留学生
7月	イタリア等6カ国 アメリカ ベトナム イギリス モンゴル	18名 10名 19名 8名 10名	2名 6名 1名	AFS 名古屋大学 名古屋大学 名古屋大学 新モンゴル高等学校
10月	モンゴル マレーシア アメリカ	10名	1名 1名 1名	さくらサイエンス 名古屋大学 AFS
11月	インドネシア フィンランド	24名	2名 4名	名古屋大学 名古屋大学
12月	シンガポール	15名	3名	名古屋大学
3月	アメリカ	10名	3名	SSH



(さくらサイエンスで本校を訪問したモンゴルの高校生に生徒研究員生度研究成果を発表)